

組織目標評価報告書（平成21年度）

部局名： 教育開発センター

	組織目標	達成状況(成果)
教育	該当なし(センター業務に記載)	
		達成度: 4 3 2 1
研究	<ul style="list-style-type: none"> 各種アンケート等を継続して実施し、その調査結果を基に教育の成果・効果と課題・問題点の分析を行う(21年度計画: 2, 18, 71)。 	<ul style="list-style-type: none"> 「新入生アンケート」および「卒業予定者アンケート」を例年通り実施し、年度間比較を中心に分析した。桃太郎フォーラムの際に「教養教育と専門教育の連携に関するアンケート」を実施し、その分析結果に基づき学士課程構築による改善策を提言するとともに、ティーチングチップスに反映させた。「授業評価アンケート」の改訂を行い、平成22年度よりアンケートに学習目標の達成度を問う質問を加えることとした。進研アドに依頼して実施した卒業生・就職先企業への訪問インタビュー調査結果が2月にまとまり、この結果についての分析、検討作業に着手した。
		達成度: 4 3 2 1
センター業務	<ul style="list-style-type: none"> 全学の人的資源を適切に活用して、教養教育を円滑に実施するための体制を再構築する(21年度計画: 14)。 本学学生が卒業時まで身に付けることが期待される学習成果について検討し、学士教育の基本目標達成に向けて本学の教育内容の改善・見直しを進める(21年度計画: 1, 14, 17, 19, 67)。 各学部学科等と連携してGPに関するデータの分析を行うとともに、この結果に基づいて学生に対する学習上の指導・支援におけるGPA制の活用法について検討する(21年度計画: 4, 77, 78)。 LMS環境および英語を自主学習できるオンライン教材を持つeラーニングサーバーの運用体制を(後者については外国語教育センターと共同で)整備し、LMS・オンライン学習教材の全学的な利用を促進する(21年度計画: 35, 40, 55, 65)。 補習教育の次年度本格実施に向けて、試行中の授業について教育成果・効果を検証し、適切な改善を図る(21年度計画: 21)。 大学コンソーシアム岡山へ単位互換科目を提供する(21年度計画: 36)。 	<ul style="list-style-type: none"> 教養教育管理委員会に教養教育検討ワーキングを設置し、各部署の責任開講コマ数の算定基準に関する原案を策定した。 学士課程教育構築ワーキングと協力して、岡山大学のディプロマポリシー、これを踏まえた各学部学科のディプロマポリシーを策定した。また、教養教育については、各学科目部会にカリキュラムマップの作成を依頼した。学習成果の可視化を図る「学士力評価チャートシステム」の試行版を完成させ、本格運用の検討に着手した。 GPA制度の活用法について他大学の取組を調査し、教育効果の把握や学生指導等への利用について検討した。その結果、学生指導のためにはGPAの学期ごとの変化に注目することが大切であり、また厳格な成績評価のためにはクラスごとのGP分布の分析が効果的であることが明らかとなった。このことを桃太郎フォーラムで報告し、GPAに関する研修を実施した。 eラーニング支援室のメンバーを一新し、WebClass利用に関する問い合わせに迅速に対応できる体制を整えるとともに、WebClass利用講習会を9月と3月に開催し、利用促進を図った。また、eラーニング利用についての要望を把握するためアンケート調査を実施した。 本年度試行的に実施した補習教育の履修状況等を詳しく分析、検討した。その結果、試行体制に、(1)補習授業は全て前期に開講する、(2)開講コマ数は初等生物学を試行より1コマ減とし全体で9コマとするなどの修正を行い、平成22年度より本格実施へ移行することとした。 「大学コンソーシアム岡山」に対して単位互換科目として61科目を厳選して提供するとともに、学生に対してポスター掲示、ホームページ掲載等により周知した。また、「大学コンソーシアム岡山」と山陽新聞社が共同で実施している「吉備創生カレッジ」に対しても5講座を提供した。
		達成度: 4 3 2 1
社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対して生涯学習の機会を提供するとともに、リカレント教育や社会人学生受入を阻害する要因を探り、その改善を図る(21年度計画: 9, 2, 123)。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月から1月まで本学の公開講座を実施したほか、地域連携講座として「セカンドライフの学びと生き方」(岡山県生涯学習大学 大学院コース、9月～10月)を実施した。大学公開講座受講者を対象としてアンケートを実施し、公開講座や社会人入学への希望等のリカレント教育に関するニーズを把握した。これらの調査に基づき、「岡山大学大学公開講座アンケート2009の分析」、「岡山大学の大学公開講座を改善するための提言」、「岡山大学のリカレント教育を推進するための課題」をまとめた。
		達成度: 4 3 2 1

【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。

センター業務については、学士課程教育の見直し、補習教育の実施など一部に優れた取り組みがあるが、全体としての目標達成度は「良好である」と判断した。次年度には、教育開発センター各部門の取り組みを一段と加速するとともに、最大の懸案である学士力保証システムの構築に向けて努力する必要がある。

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。

[組織目標一覧へ](#)